



ゆり地域支援だより

令和6年7月22日発行 第2号 秋田県立ゆり支援学校 地域支援部

～小学部の学習紹介～

本校では、小学部の児童が自分から主体的に学習活動に取り組めるように、児童の実態に応じて、さまざまな支援を行っています。今回も視覚的な支援を中心に紹介します。

また、児童にとって「自分のことは自分で行う」ことを意識して体験的な学習ができる宿泊学習の内容についても紹介します。

小学部1年生

課題 入学当初はどこに行くのか、何をするのか分からず、混乱してしまい、落ち着くことが難しかった。

ねらい 学習内容と場所の見通しをもつことができる。

効果

教室に一日の流れを、学習内容と場所の写真カードで提示したことで、次に何をするのか理解し、自分から移動したり、落ち着いて活動したりするようになった。



小学部2年生

課題

教師の指示を待ってしまい、一人で取り組むことが難しい。

ねらい

朝の活動を自分で行う。

効果

イラストを見て、自分で朝の準備に取り組むようになった。終わって扉を閉じると花丸になるため、達成感がある。言葉掛けを受けずとも自分で手順通りに進められるようになった。



課題

足を組んでしまい姿勢が悪くなってしまう。

ねらい

足をそろえてすわる。姿勢を正して注目する。

効果

自分の場所が分かり、足形に合わせて「気を付け」の姿勢で両足を床に付けて座れるようになった。



小学部6年生

課題 卒業までの見通しをイメージすることが難しい。

ねらい 中学部をめざして1年間の見通しをもって生活できる。

効果

卒業までの主な行事予定を自分たちで作成し、年間を通して掲示した。現時点の場所を示しておくことで、自分で1年間に見通しをもち、頑張りどころも意識できるようになっている。



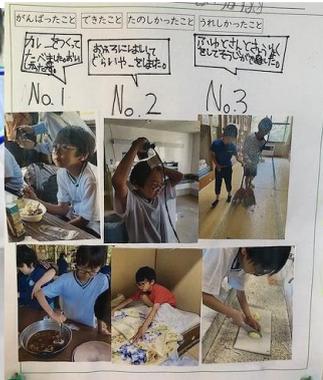
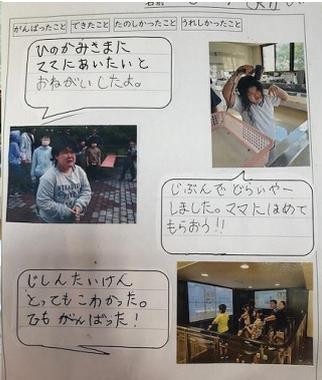
小学部 4, 5 年生 宿泊学習

ねらい (1) 荷物の管理や歯磨き、入浴など身の周りのことを自分で行う。

(2) 集団活動の中で、順番や時刻、施設の使い方などの決められた約束を守って活動する。

(3) 校外における集団活動を通して、教師や友達と楽しい思い出をつくる。

主な活動内容・・・野外炊飯のカレー作り、天鷲村までのウォーキング、かがり火ファイヤーなど



◎事後学習では、一人一人が写真や動画を手掛かりにしながら、学習シートに、自分の目標に対する振り返りや思い出をまとめ、学部集会で報告した。

夏季研修会のお知らせと書籍の紹介

ゆり支援学校では8月16日、夏季研修会として、東京都杉並区立済美養護学校の主任教諭、川上康則先生のオンライン研修会を行います。川上先生は今最も注目度の高い特別支援教育の実践者のお一人として、多方面から講演依頼の絶えない方です。本校の研修会も1年前にご依頼し、ようやく実現する運びとなりました。今回は「発達につまずきのある児童生徒との豊かな関係の築き方」というテーマでお話をいただきます。2学期に向けて元気の出るお話になると思いますので、お気軽にご参加ください。詳細についてはメールで各学校、園に送信いたします。

<書籍の紹介>

川上先生には多数の著書がありますが、今回は最新刊『教師の流儀 正解のない問いを考える』

をご紹介します。

『学校現場で教師が日々直面する誰でも陥りがち、見過ごしがちでありながら、なかなか正解が見つからないという様々な問題に対してその本質を解き明かす解決への手がかりとヒント』(本書の帯より)が6章にわたって詰め込まれています。どの章から読み進めても「なるほど」と納得し、思わず自身の教師としてのあり方を顧み、そして教師でい続けることの意味を考えさせられる内容となっています。是非手に取ってご覧になってください。



川上康則(かわかみやすのり)氏

1974年東京都生まれ。公認心理師、臨床発達心理士、特別支援教育士スーパーバイザー。NHKEテレ「ストレッチマン」番組委員。障害のある子どもたちに対する教育実践を積むとともに、全国の教員や保護者の支援も行っている。『教室マルトリートメント』(東洋館出版社)『教師の流儀』(エンパワメント研究所)など著書多数。

先生方のお悩みや疑問にお答えします。ご連絡、お待ちしております。

秋田県立ゆり支援学校 地域支援部

TEL: 0184-27-2631 E-mail: yuri-s@akita-pref.ed.jp

